

令和2年度 第1回スポーツ推進審議会 会議録

〔事務局〕 スポーツ課
〔開催日時〕 令和2年8月28日（金）午後5時00分～午後5時45分
〔開催場所〕 伊勢原市役所 2C会議室
〔出席者〕 （委員）田中会長、平田副会長、野坂委員、沓澤委員、
大川委員、山口委員
（事務局）細野健康づくり担当部長、桐生ねんりんピック担当課長、
遠藤スポーツ係長、高山主事

〔公開可否〕 公開

〔傍聴人〕 0人

《審議の経過》

（資料）

- ・体力・スポーツに関する意識調査票
- ・令和2年度伊勢原市スポーツ事業計画
（会議録）

事務局：会議の開会を宣言。規則第4条に定める会議の定足数について、委員定数10名に対して6名の出席があり、定足数を満たしていることの確認をした。

担当部長：あいさつ

事務局：改選後初めての会議のため、委員から職員まで簡単な自己紹介を求めた。

事務局：議題（1）正副会長の互選について。

委員：事務局案を求める意見あり。

事務局：会長は、市域に渡り競技スポーツの先導役を担っている伊勢原市体育協会の田中委員に、副会長には、地域単位において地域住民の健康・体力づくりを担っている伊勢原市スポーツ推進委員協議会の平田委員にお願いしたいとの考えを提示。

委員：異議なし、全員拍手にて承認。

事務局：承認を得て、ここからの議事を規則第2条第3項の規定により、会長にお願いした。

会長：議題（2）市民の体力・スポーツに関する意識調査についての説明を事務局に求めた。

事務局：市民の体力・スポーツに関する意識調査について説明。

委員：アンケートの回収率はどれくらいなのか。

事務局：前回の平成27年度調査では、サンプル数2,000に対して、回収が1,147であったため、回収率は50～60%程度。

委員：調査実施時期はいつか。またコロナ禍により調査結果がちゃんと出ないのではないか。

事務局：9月を予定している。調査内容について改めて再考する。

委員：QRコードがあるがインターネットが使えない環境にある人はどのようにするのか。

事務局：調査用紙と返信用封筒は、郵送するため、インターネット環境が整っていない場合でも回答できるようになっている。

委員：アンケートは今年実施しなくてもいいのでは。市主催のイベントや事業について年度末まで控えるように言われている中で、アンケートが送られてきたら矛盾しているように感じるのでは。

事務局：スポーツ推進基本計画改定の基礎資料として5年ごとに調査を実施しているが、現状を踏まえ、調査内容、時期含め再考する。

会 長：議題（２）「市民の体力・スポーツに関する意識調査」については実施について再度検討するということよろしいか。

委 員：全員賛成

会 長：説明事項（１）令和２年度スポーツ課事業計画概要についての説明を事務局に求めた。

事務局：令和２年度伊勢原市スポーツ事業計画に基づき説明。

委 員：１０月に開催予定のビームライフル体験教室、障がい者スポーツ教室、全日本クレ射撃選手権は中止になっていないということは開催の方向なのか。

事務局：ビームライフル体験と障がい者スポーツ教室は関係団体と調整中、全日本クレ射撃選手権は現時点では開催予定。

委 員：全日本クレ射撃選手権の会場は。

事務局：伊勢原射撃場。

委 員：通年事業の東海大学健康クラブは令和２年３月から新型コロナの影響により中止となっている。

委 員：現状ロードレース開催は厳しいと思うが、何とか開催できないか。

事務局：協力団体の確認を含め、検討中。

委 員：多くの事業が中止になっているが、予算の執行状況はどのようになっているのか。

事務局：ボランティア等の協力により実施しているものが多く、また助成金等を活用しているため、市の負担は少なくなっている。

委 員：コロナ禍だけでなく、災害等があった際にどのような事業を展開していくのか。

年間の行事に対して実施可否の判断だけでなく、代替案を検討していくことも必要ではないか。

コロナ禍だからこそできる事業を考えていくことが大切ではないか。

事務局：いただいた意見を参考に今後の取り組み方を考えていく。

会 長：その他事項について質問等がないことを委員に確認した。

事務局：次回の審議会の日程について１１月を予定していることを説明。また、第３回については来年１月または２月頃開催予定の旨を説明。

会 長：議事進行協力のお礼。

事務局：全体を通しての質問等がないことを委員に確認した。

副会長：閉会のあいさつ

以 上